

特別講演

7月19日(日) 10時40～11時40分

東京スカイツリー(R)の建設

～世界一の高さへの挑戦～

株式会社大林組 建築本部プロポーザル部 課長
高木 浩志

司会
畑中 宗博 (北見赤十字病院)



東京スカイツリーの建設 ～世界一の高さへの挑戦～

株式会社大林組 建築本部プロポーザル部 課長
高木 浩志

高さ634mで自立式電波塔として世界一の「東京スカイツリー」は、多くの関係者の英知と技術の粋を集めて、様々な困難を克服しながら2012年2月に無事竣工しました。本講演では、「巨大であること」と「精密であること」という対極にある二つの目標を両立させながら、東日本大震災にも耐え、未知の領域での建設工事を計画通りに進めることを可能にしたさまざまな技術や工法のご紹介を通して、日本の力と、「ものづくり」にかける情熱を感じていただければと思います。

1. プロジェクト概要

建設概要／敷地条件／世界の主なタワーとの比較

2. 設計

日本の伝統美と未来への躍動感を表現した立ち姿／特殊な杭と制振システム

3. 最新の建設技術

未知の高さに挑む技術的難題を克服するための各種技術

4. 施工手順

杭工事／鉄骨工事／ゲインタリフトアップ工法／心柱スリップフォーム工法

5. 東日本大震災発生時の状況

揺れの程度／地震に備えた安全確保のための事前検討と対策およびその効果

講師 株式会社大林組 建築本部プロポーザル部 課長
高木 浩志 先生 ご略歴

1991年大阪大学工学部環境工学科卒業、同年株式会社大林組入社。

建築設計部、シンガポール、米国勤務などを経て2002年より建築本部プロポーザル部勤務。

2006年～2007年には東京スカイツリー施工者選定のための数度にわたる技術提案競争での提案取りまとめを担当。

2008年着工以降、工事広報および各所での講演等を担当。

著書

「東京スカイツリーのディテール」新建築社 2012年（共著）